

日立システムズ、一宮市の市税業務にRPAを適用した実証実験結果

ニュース 2018/10/22 17:00 ツイート いいね! シェア 6 後で読む

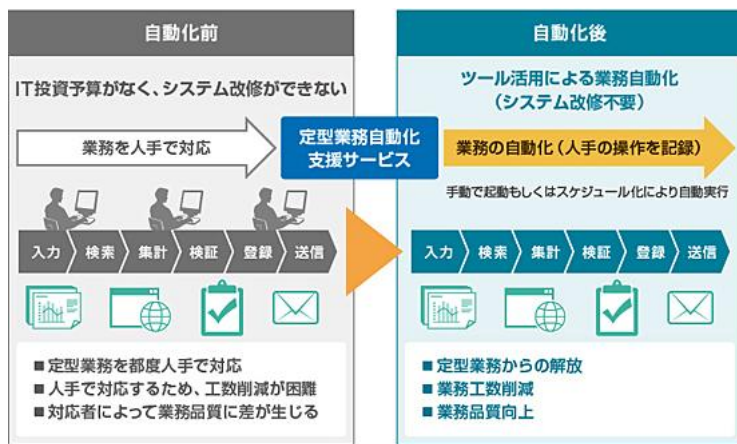
日立システムズ 東京都 関東地方

日立システムズ（北野昌宏社長）は10月19日、愛知県一宮市（中野正康市長）の市税業務に対し、RPA（Robotic Process Automation）を適用した実証実験を7月から8月にかけて実施した結果、職員による住民税システムへの入力業務で、73.6%の作業削減を達成したと発表した。

一宮市は、日立システムズの「ADWORLD住民税システム」を導入。現在、住民税システムへの特別徴収に係る給与取得者異動届出書（異動届）の入力業務は、年間に入力する約1万8000件のうち約8000件が3月中旬から6月に集中しており、この期間は職員を増員して対応しているという。今回の実証実験では、異動届の入力業務について、RPAの適用により、入力処理にかかる時間を削減することが可能かを確認した。

具体的には、現状の異動届業務の作業内容や業務フローから課題を整理し、RPAを適用することでこれらの課題が解消されるか否か、検証シナリオを構築して検証した。この結果、複数の入力作業などを改善したことで、異動届入力業務（全体）にかかっていた作業時間を201時間から53時間にまで削減することができ、一定の効果を得ることができた。

日立システムズは、ウェブ業務システム、表計算ソフトのデータなどを活用して行われる定型業務をRPAにより効率化する「定型業務自動化支援サービス」を15年12月から主に民間企業向けに提供してきた。今後、民間企業を中心とした100社以上にRPAを導入してきたノウハウと、今回の実証実験で得られた課題を反映した自治体向けRPAサービスの提供を18年度中に開始する予定。



ツイート いいね! シェア 6 後で読む

関連記事

- 日立システムズ、IoTセンサーを活用した見守りシステムの実証実験
- 日立システムズ、CTA計画の大型ガンマ線望遠鏡向け電源システムが本稼働
- 日立システムズなど、日立ドローンプラットフォームを提供

RPAで業務効率化

自動化ツール/ロボ・パット
PCで行う日々の繰り返し作業を、ロボットが自動処理。しかも簡単で安価！

fce-pat.co.jp 開く

RPAで業務効率化

自動化ツール/ロボ・パット
PCで行う日々の繰り返し作業を、ロボットが自動処理。しかも簡単で安価！

fce-pat.co.jp 開く

アクセスの多い記事

2018/10/04 10:00

変革を続けるCEATEC JAPAN 2018の見どころ 発信、共創の場を目指して——CEATEC JAPAN 実施協議会

2018/04/13 18:10

外から見た富士通、内から見た富士通 中山 首席エバンジェリストが入社8か月を語る

2018/10/16 14:45

ファーウェイ、新型AIチップを発表、米国依存からの脱却を狙う

2018/10/19 09:00

日本IBMのWatson事業 早期に国内1万社超販売を目指す AI人材不足を補うサービスや、一輪群を充実

2018/10/18 10:00

IPアドレスなしの通信を商用化 導入障壁を下げIoTを日本の産業に育てる——ソフトバンク

[PR]売れてる理由がそこにある - BCN+R

[PR] IT関連セミナー・イベント情報

[PR]実売データでわかる売れ筋ランキング